

## キャリア形成支援センター

### 活動報告

#### I. キャリア形成支援センター概要

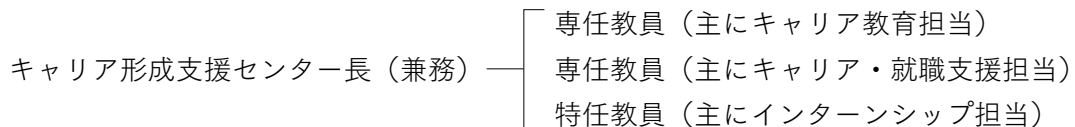
キャリア形成支援センターは、全学的なキャリア形成支援体制のもとで、キャリア教育及びインターンシップを含めたキャリア形成・就職支援を充実・推進し、学生の多様なキャリア形成を支援することを目的とし、令和2年4月1日に設置された。

##### 1. 主な業務内容

- キャリア教育の研究開発・実施
- キャリア・就職支援の企画立案・実施
- インターンシップの企画立案・実施
- 鹿児島大学地域人材育成プラットフォーム（かごしまキャリア教育プログラム）の運営及び実施
- 学生（卒業生及び中途退学者を含む）へのキャリア・就職に係る指導助言
- キャリア教育やキャリア・就職支援、インターンシップ等に関する調査・分析及び報告
- 求人その他の就職及びインターンシップ情報の収集・提供
- 「大学地域コンソーシアム鹿児島」の「地域連携・就業部会」の運営



##### 2. 運営体制



#### Ⅱ. 令和4年度の主な活動内容

##### 1. キャリア教育

###### (1) 地域人材育成プラットフォーム「かごしまキャリア教育プログラム」

キャリア形成支援センターは、総合教育機構が運営する「地域人材育成プラットフォーム」の「かごしまキャリア教育プログラム」を担当しており、プログラム運営にあたって本センターの教員が中心となりキャリア教育プログラムワーキンググループ（以下、キャリアPWG）を運営している。「かごしまキャリア教育プログラム」は、学部（研究科を含む）では実施困難な全学部の学生を対象とする学部横断的、かつ体系的なキャリア教育プログラムである。1学年から3学年までの一連の連続した教育システムであるとともに、問題解決型学習（PBL）のインターンシップ（ないしはキャリア実習）を組み込んだキャリア教育としてトータルにデザインされている。

●「地域人材育成プラットフォーム」の「かごしまキャリア教育プログラム」の開発および実施・運営

キャリアPWGは「かごしまキャリア教育プログラム」全体およびそれを有機的に構成する各科目、すなわち「キャリアデザイン（前期）」「キャリアデザイン（後期）」「社会人基礎力演習（前期）」「社会人基礎力演習（後期）」「地域キャリア・インターンシップ事前演習」「地域キャリア・インターンシップ」「地域キャリア・インターンシップ修了演習」、さらに後述する「チャレンジ・ビジネス1」「チャレンジ・ビジネス2」についての開発および実施運営をおこなっている。

今年度のキャリアPWGにおける議論は、第一に学習プロセスについてであった。本プログラムの受講生の特性が明らかになってきたことや、時代の変化によって現行の履修要件だけでは対応できなくなっていることから、「地域人材育成プラットフォーム」総体とも関わる履修要件の議論を進めた。キャリアPWGは3年生修了に加えて2年生修了を認めることが有効であると判断した。この結果、次年度より「地域人材育成プラットフォーム」の2年生修了が認められることとなった。第二に「地域人材育成プラットフォーム」はインターディシプリナリーな全学教育を標榜することから、所属学部以外の「就業力科目」の修得を必須としている。キャリアPWGは、学生の学ぶ機会やプログラムとしての連続性を確保するねらいから、共通教育センター教員の協力を得てキャリア系「学際的科目」を開発した。それが以下に述べる「チャレンジ・ビジネス」1・2である。

「チャレンジ・ビジネス」1・2は、外見上はさつまいもを農場で栽培し、それらを販売し利益をあげるビジネスに取り組むものだが、真のねらいはそこにはない。学生が取り組むのは、理論と実践との両面から文理融合型の課題に挑戦し、プロジェクトで発生する諸種の問題に常に向き合い、これまでに学んだ社会人基礎力を復習しつつ実践することにある。さらに販売ビジネスでは新たな価値付与をいかに実現するのか創造力を試されることになる。「かごしまキャリア教育プログラム」にとって不可欠の教育として組み込まれている。

その他の各科目においても、さまざまな改善を試みている。スタートアップ科目である「キャリアデザイン（前期）・（後期）」では、自己理解のための客観テストや主観観察の方法を導入し、業種職種の学習、それらを踏まえたキャリアデザインの方法、キャリア教育に関わる諸理論などキャリア教育として必要な基礎的知識をあたえ、地域人材育成のためのコンテンツを拡充した。

「社会人基礎力演習（前期）・（後期）」は本プログラムのコア科目であり、学生のキャリア形成に必要な能力を理論と実践とのバランスを考慮しつつ、効率よく伸長できるよう設計されている。学生全員をファシリテーターへと成長させるために諸種のインストラクションやグループワークを改善し、アクティブ・ラーニングとして独自の進化を遂げている。

「地域キャリア・インターンシップ事前演習」「地域キャリア・インターンシップ」「地域キャリア・インターンシップ修了演習」は、総合教育機構所属の教員の協力を得て、きめ細やかな指導を堅持している。「修了演習」では学部教員の専門的知見にアクセスすることでより高度な問題解決を可能にし、地域に公開される地域人材育成プラットフォーム成果報告会において高い評価を得ている。以上の運営・実施のためにセンター外の教職員との連携が不可欠となる。共通教育センター、高等教育研究開発センター、学部などとの協力に努めた。

●ディプロマ・サプリメントの全学的導入に向けたキャリア形成に係る事項について

第4期中期目標・計画期間中にディプロマ・サプリメントを全学的に導入することになっており、正課の学修記録の部分を中心に教務委員会で検討が進められていたが、正課外活動の記載項目とその取扱いについては、令和4年度設置の総合教育機構教育等企画会議のキャリア部門会議にて検討を行った。学生の正課外活動の部分は、公的証明書であるディプロマ・サプリメントと

は別に、学生の自己申告書的なものとして扱い、学生生活で積み上げてきた経験や成果を振り返り、確認するための個人記録として、就職活動や就職・キャリア相談、指導教員との面談の際に活用することとし、インターンシップやボランティア経験、留学・海外研修経験、キャリア教育やキャリア関係イベントの受講・参加歴等の追加記載項目案と併せ、キャリア形成支援委員会の審議後に教務委員会に提案した。

(2) 正課外のキャリア支援イベントと連携した低学年からのキャリア形成

全学年対象の正課外キャリア支援イベントを「かごしまキャリア教育プログラム」のスタートアップ科目である「キャリアデザイン」の授業の一部に組み入れ、或いは授業の中で教員から参加を促している。以下の表に示すとおり、令和4年度の低学年次生の延べ参加者数は令和3年度より1割近く増え、キャリア形成支援センター設置前の令和元年度の2倍を上回る結果となった。

全学年対象の主なキャリア支援イベント	低学年の参加者数（名）			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
Web インターンシップ合同企業説明会	24	126	203	113
中小企業の魅力発見講座	11	16	21	7
卒業生によるキャリア支援セミナー	29	98	93	105
進路ガイダンス	45	49	26	80
Web 業界研究フェア（県内企業・団体）	123	191	69	123
Web 業界研究フェア（県外企業・団体）		204	57	75
合計	232	684	469	503

※令和元年度の数字は就職支援センターとして実施したイベントの実績

2. キャリア・就職支援

令和4年度のキャリア形成支援センターによるキャリア・就職支援の取組みの一覧と学生の参加状況等については、表1（令和4年度キャリア形成支援センター事業実施状況：P44）のとおりである。本節では、就職・キャリア支援イベントの開催、就職・進路相談、求人情報の提供、学内外への広報について概要を報告する。

(1) 就職・キャリア支援イベント

●ガイダンス・支援講座等

学部3年生・大学院1年生を対象に、年6回の就職ガイダンスと、4回の少人数・実践的な就職支援講座を開催した。新たな取り組みとしては、就職活動のスタートが遅れた学生のためのガイダンス「今から始める！就活」を10月に企画・実施したほか、採用の早期化に合わせて模擬面接とグループ・ディスカッションの実践講座を学部3年生の12月から複数回実施しており、学生の2極化に対応した支援を行った。



また、学部4年生・大学院2年生対象とした2回の就活応援講座と個別進路相談会、学部1、2年生対象の進路ガイダンスを開催した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大状況に合わせ、前年度より対面での開催を増やしたが、ガイダンスや支援講座への参加学生数は対面・オンライン開催併せて1,095人（オンライン開催はLIVE視聴のみの人数）となり、前年度（1,073人）を上回った。

●企業セミナー（説明会）等

新型コロナ下での就職・採用活動も3年目となり、学内個別企業説明会も感染予防対策を講じた上で対面開催し、感染状況によってはオンラインで開催するなど、柔軟に対応した。その結果、オンライン形式も含めた合同・個別の企業セミナー（説明会）や業界・職種研究セミナー、県内企業の社長を招いての交流イベント等への延べ参加社数は596社、参加学生数は3,680人で、いずれも前年度を上回った。

【全学年対象】

- ・ Web インターンシップ合同企業説明会
- ・ 25回の業界・職種研究セミナー
- ・ 5社の県内企業の社長を招いての中小企業の魅力発見講座
- ・ 計13回の Web 業界研究フェア / Web 合同業界研究会



【学部3年・大学院1年対象】

- ・ 2日間の講義形式の学内個別企業セミナーフェア
- ・ 山口・山形・福島大学合同東京 IT 合同企業説明会
- ・ 鹿児島大学・広島大学限定 Web 合同企業説明会



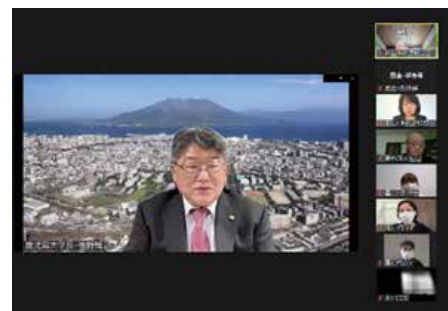
【学部4年・大学院2年対象】

- ・ 年間随時開催の学内個別企業説明会
- ・ 計7回の西日本地区等国立大学限定 Web 合同企業説明会（県外企業）
- ・ 県内企業によるブース形式の学内合同企業説明会



●卒業生による就職・キャリア支援セミナー

大手企業等に勤務する若手卒業生5人による就職支援セミナーに加え、同窓会連合会の協力で、多彩な分野で活躍する卒業生4人によるキャリア支援セミナー「きばいやんせ、鹿大生2022!」も完全オンライン方式にて開催した。毎年開催しているこのキャリア支援セミナーは、共通教育科目「キャリアデザイン」と連携しており、受講生を含めて99人が参加した。



(2) 就職・進路相談（表2参照：P45）

本学の法文学部 OB である以下の就職相談員に加え、ハローワークの就職ナビゲーターの計2人が、学期中はほぼ毎日学生の就職や進路に関する相談に対応している。採用活動の早期化や学生側の売り手市場もあり、令和4年度の年間の相談件数は前年度より約7%減少した。

【就職相談員】原口一陽 氏（前株南日本新聞社 東京支社次長 兼 営業部長）

(3) 求人情報の提供 (表3参照:P46)

令和4年度にキャリア形成支援センターで受け付けた求人件数は表3のとおりである。センターに届いた全国からの求人は、求人検索システムのデータベースに入力し、学内外から学生や卒業生が求人情報を検索できるようにしている。さらに、求職登録している最終学年次生や卒業生には、希望条件に近い求人が届いた場合、その日のうちに自動メールが送付される(求職登録制度)。令和4年度中にこの求職登録制度を利用した在学生及び卒業生は合計97人で、売手市場を反映して前年度(年間130人)より減少した。また、センターで受け付けた求人票は、対象学部コピー等を送付するとともに、県内・県外に分け、さらに業種別・五十音別にファイリングして、来室した学生が閲覧できるようにしている。

なお、ここ数年、民間の採用活動は早期化が進み、求人情報が公開される3年生の3月より前に、インターンシップ等の名目で行われる様々な早期イベントをきっかけとする採用が増えた影響で、大学宛の求人件数は年々減少していたが、令和4年度卒業生対象の求人件数は、数年ぶりに前年度よりわずかではあるが増加した。その要因としては、新型コロナ後を見据えた採用意欲の高まりや、少子化による人材獲得競争の激化等が背景にある。

(4) 学内外への広報

キャリア形成支援センターから昨年度発行した定期刊行物は以下のとおりである。

発行時期	名称	形態	配布対象・方法等
6月中旬頃	就職支援ガイドブック	冊子 電子ブック	学部3年生・大学院1年生に学部やセンターで配布
2月上旬	求人のための大学紹介	冊子	全国の企業・団体約1,100社に郵送
4月上旬	キャリア形成支援センター案内リーフレット	三折リーフレット	入学式の配布物として新入生や保護者に配布し、センターと各学部の就職支援室等に設置。県内高校長との教育懇話会でも配布
毎月1回	「キャリア形成支援センターからのお知らせ」	A4サイズ 1枚	センターに設置するとともに各学部で掲示 就職ガイダンス等でも配布

以上のほか、入試広報用の「受験生のための大学案内」や、広報センター発行の保護者向け「鹿大だより」と大学概要、学生生活課が発行している学生便覧に毎年原稿を提出しており、報道機関の取材にも随時対応している。



(5) 就職活動へのハード面の支援

●学生専用個室ブース

新型コロナ下で浸透してきたオンラインでの企業説明会や採用面接、内定式(内定者懇談会)、大学院入試面接などに学生が利用できる個室ブースを設置している。

R4年度の延べ利用者数は前年度の約1.5倍に相当する156人で、その半数は大学院生であった。



●海音寺潮五郎記念東京学生宿泊施設

平成27年度に設置した東京都世田谷区の学生宿泊施設は、鹿児島県伊佐郡(現伊佐市)出身の歴史小説家海音寺潮五郎氏のご遺族より、本学が寄贈を受けた海音寺潮五郎記念館を、本学の学生及び教職員が宿泊を伴う教育・研究等を行う



際の東京拠点として改修・整備したものである。新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年3月末より休館していたが、令和4年5月より1名1室の個室での宿泊のみに制限の上で利用を再開したところ、令和4年度の学生の延べ宿泊数は204泊であった。

表1

令和4年度キャリア形成支援センター事業実施状況

		R5.3.31 現在	
月 日	事 業	参加状況	(前年度)
<b>【ガイダンス・支援講座/就活応援講座】</b>			
1月11日	・進路ガイダンス (WEB)	学生 80人	(26)
4月20日	・第1回就職ガイダンス「就活スタートアップ」 (WEB)	学生118人	(162)
4月27日	・第2回就職ガイダンス「インターンシップ活用法と業界・企業研究」	学生141人	(260)
5月18日	・第3回就職ガイダンス「インターンシップ選考対策」 (WEB)	学生177人	(147)
10月5日	・第4回就職ガイダンス「今から始める! 就活」	学生31人	(-)
10月6日	・第5回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」 ①人事院九州事務局②九州財務局③熊本国税局④鹿児島労働局⑤鹿児島地方・家庭裁判所	学生 42人	(92)
1月18日	・第6回就職ガイダンス「就活直前対策」 (WEB)	学生85人	(56)
7月13日	・就職支援講座Ⅰ「グループワーク実践」	学生 31人	(40)
8月10日	・就職支援講座Ⅱ「就活マナー実践」 (WEB)	学生 189人	(140)
10月19日	・就職支援講座Ⅲ「インターンシップ振り返り講座」	学生 76人	(39)
12月21日、1月25日、2月13日	・就職支援講座Ⅳ「模擬面接&グループディスカッション実践」 (期間中3回)	学生 83人	(67)
6月1日	・就活応援講座Ⅰ「就活見直し講座」	学生 20人	(30)
6月8日	・就活応援講座Ⅱ「公務員・教員受験者向け集団討論対策」	学生 15人	(10)
11月22日	・個別進路相談会	学生7人	(4)
年間参加者数累計：1095人 (前年度1073人)			
<b>【企業セミナー等】</b>			
4月～3月	・学内における個別企業説明会 (随時) (※3年・院1年対象の説明会は3月以降)	企業131社 学生116人	(96) (119)
5月25日	・「かごしま課題解決型インターンシップ」受入企業による説明会	企業19社 学生234人	(19) (166)
8月～	・「かごしま課題解決型インターンシップ」 (随時)	企業22社 学生79人	(18) (51)
6月22日	・インターンシップWeb合同企業説明会 (Live視聴+録画視聴)	企業30社 学生1344人	(32) (1028)
6月29日	・県内企業による学内合同企業説明会 (ブース形式)	企業 20社 学生 26人	(20) (28)
6月～11月	・西日本地区等国立大学学生限定 WEB合同企業説明会 (7回開催)	企業75社 学生 25人	(104) (33)
10月～2月	・業界・職種研究セミナー (随時)	企業 35社 学生131人	(37) (227)
11月30日	・中小企業の魅力発見講座「社長と語ろう」	企業5社 学生 20人	(6) (34)
12月4日	・卒業生による就職・キャリア支援セミナー (WEB)	回数 2回	(2)
2月28日	・西日本地区国立大学合同 Web業界研究会 (12回開催)	学生 134人 企業146社	(112) (92)
6月～2月	・Web業界研究フェア (県内企業対象) ※官公庁も一部参加 (Live視聴+録画視聴)	学生223人 企業50社	(118) (51)
12月17日	・学内個別企業セミナー・フェア (講義形式・2日間)	学生1276人 企業 60社	(762) (60)
日	・山口大学・山形大学・福島大学合同 東京IT合同企業説明会	学生269人 企業 10社	(223) (-)
3月10日	・鹿児島大学・広島大学限定Web合同企業説明会	学生4人 企業15社	(-) (78)
3月22日	・学生12人	(10)	
<b>【公務員・教員 関係】</b>			
5月～4月	・公務員採用試験対策講座 (大学生協)	学生258人	(238)
12月～6月	・教員採用試験対策講座 (大学生協)	学生 18人	(18)
<b>【キャリア教育・就職情報冊子】</b>			
通年	・「キャリアデザイン」前期・後期	学生376人	(430)
前・後期集中	・「社会人基礎力演習」前期・後期	学生43人	(22)
通年	・「地域キャリア・インターンシップ事前演習」「地域キャリア・インターンシップ」「地域キャリア修了演習」	学生14人	(5)
6月上旬	・学生向け就職冊子「就職支援ガイドブック」発行	配付及びHPへ掲載	
2月上旬	・企業向け就職関係冊子「求人のための大学紹介」発行	企業1159社	(1155)
3月下旬	・キャリア形成支援センターリーフレット発行		
毎月1日	・学生向け就職情報「キャリア形成支援センターから」発行		
<b>【就職委員会・その他】</b>			
○キャリア形成支援委員会 (第1回:4月・第2回:6月・第3回:7月・第4回:10月・第5回:12月・第6回:2月・第7回:3月)			
○企業来室対応 (求人・会社PR・情報収集等)		企業472社	(300)
<b>【就職個別相談】</b> R5.3月末現在 ※ ( ) 内の数字は前年3月末現在の人数を示す			
○就職相談員 (原則 月・水・金の午後) : 861人 (806) / ○センター職員 (随時) : 57人 (72)			
○ハローワーク鹿児島 就職支援ナビゲーター (原則 火・木 10:30~16:30) : 847人 (1014)			

表2

令和4年度 各学部の就職相談状況（就職相談員・キャリア形成支援課教職員）

年月	相談員 勤務 日数	学 部														R3 年度		
		法文		教育		理		医・歯		工		農・共同獣医		水産			合計	
		就職相談員	キャリア形成支援センター教職員	就職相談員	キャリア形成支援センター教職員	就職相談員	キャリア形成支援センター教職員	就職相談員	キャリア形成支援センター教職員	就職相談員	キャリア形成支援センター教職員	就職相談員	キャリア形成支援センター教職員	就職相談員	キャリア形成支援センター教職員		就職相談員	キャリア形成支援センター教職員
4月	16	46 (28)	3 (1)	13 (6)		13 (3)	1 (0)	4 (4)	1 (1)	23 (6)	3 (0)	19 (9)	1 (0)	2 (0)	1 (1)	120 (56)	10 (3)	118
5月	14	36 (17)	1 (1)	5 (5)	1 (1)	13 (12)	4 (1)	9 (9)		19	2 (1)	23 (13)	3 (2)	3 (0)		108 (56)	11 (6)	113
6月	15	28 (15)		5 (3)		13 (7)		4 (4)		24 (2)		29 (16)	2 (0)	6 (1)		109 (48)	2 (0)	122
7月	11	23 (14)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	6 (5)		7 (7)	1 (1)	16 (0)	1 (0)	28 (21)		4 (1)		86 (49)	4 (3)	63
8月	4	7 (7)	2 (1)	3 (3)		4 (3)	1 (1)	2 (2)		10 (0)		1 (1)	1 (1)	2 (0)	1 (1)	29 (16)	5 (4)	35
9月	4	3 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	5 (3)				8 (2)		3 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (1)	22 (6)	7 (3)	28
10月	4	6 (6)	2 (1)			1 (1)				2 (0)	1 (0)	3 (2)	1 (1)	5 (0)		17 (9)	4 (2)	21
11月	4	3 (3)	1 (0)	1 (0)		1 (1)				2 (0)		7 (5)		4 (0)		18 (9)	1 (0)	25
12月	10	14 (9)		1 (1)		3 (1)				9 (0)	1 (0)	8 (6)		13 (2)		48 (19)	1 (0)	55
R5年1月	11	19 (10)		4 (4)		5 (4)				25 (3)		17 (8)		7 (2)		77 (31)	0 (0)	85
2月	13	33 (15)	1 (1)	2 (1)		5 (3)				25 (3)	3 (0)	18 (15)	2 (2)	12 (4)		95 (41)	6 (3)	83
3月	17	52 (21)		2 (2)		9 (2)				19 (3)	2 (0)	30 (22)	3 (2)	20 (3)	1 (0)	132 (53)	6 (2)	130
年度計	123日	270 (146)	15 (7)	39 (26)	3 (2)	78 (45)	6 (2)	26 (26)	2 (2)	182 (19)	13 (1)	186 (118)	14 (9)	80 (13)	4 (3)	861 (393)	57 (26)	878
学部別相談者合計		285 (153)		42 (28)		84 (47)		28 (28)		195 (20)		(106) (127)		84 (16)		918 (419)		
学 部 割 合		31.0%		4.6%		9.2%		3.1%		21.2%		21.8%		9.2%		100%		

(注1) ( )内の数字は女子(内数)を示す。また学部割合の%は全学部の相談者合計に対する割合を示す。  
 (注2) 既卒者、大学院生を含む。

令和4年度 ハローワーク就職支援ナビゲーターによる就職相談状況

(令和4年4月～令和5年3月)

	キャリア形成支援センターにおける相談状況 (毎週火・木曜 10時30分～12時、13時～17時)									令 和 3 年 度
	法文	教育	理	医・歯	工	農 共同獣医	水産	小計		
4月	44 (34)	7 (7)	17 (11)		13 (2)	23 (20)	3 (2)	107 (76)		105
5月	41 (31)	7 (6)	11 (4)	2 (2)	11 (2)	14 (11)	2 (2)	88 (58)		87
6月	31 (27)	6 (5)	7 (1)	1 (1)	4 (1)	27 (18)	1 (0)	77 (53)		128
7月	33 (24)	2 (1)	7 (4)	3 (3)	13 (2)	21 (12)	4 (1)	83 (47)		143
8月	23 (18)	1 (1)	5 (2)	2 (2)	12 (6)	11 (8)	3 (1)	57 (38)		48
9月	20 (16)		6 (2)		13 (5)	1 (1)	10 (2)	50 (26)		56
10月	18 (12)	3 (2)	3 (1)		9 (6)	9 (8)	7 (2)	49 (31)		55
11月	18 (10)		3 (2)		7 (3)	3 (2)	9 (1)	40 (18)		53
12月	14 (10)		2 (0)		8 (2)	6 (5)	5 (2)	35 (19)		49
令和5年1月	17 (14)	1 (0)	5 (2)	1 (1)	21 (1)	11 (10)	5 (4)	61 (32)		75
2月	27 (17)	2 (1)	9 (4)		27 (2)	20 (10)	9 (4)	94 (38)		93
3月	35 (21)	3 (3)	11 (0)		16 (1)	38 (22)	3 (1)	106 (48)		122
R4年度計	321 (234)	32 (26)	86 (33)	9 (9)	154 (33)	184 (127)	61 (22)	847 (484)		1014

令和3年度同時期の累計: 1014件

(注1) ( )内の数字は女子(内数)を示す。  
 (注2) 既卒者、大学院生を含む。



表3

2023年3月卒対象求人件数

2023年3月末現在

年月	国家・地方公務員、独立行政法人			左記以外				合計		
	県内	県外	小計	キャリア形成支援課		ハローワーク			小計	
				県内	県外	県内	県外			
2022年3月	3	57	60	79	471	2	0	552	612	※既卒者対象求人3件を除く
4月	1	30	31	20	49	10	2	81	112	※既卒者対象求人1件を除く
5月	6	77	83	43	73	23	94	233	316	※既卒者対象求人2件を除く
6月	3	2	5	37	13	5	5	60	65	※既卒者対象求人1件を除く
7月	10	53	63	26	108	5	13	152	215	※既卒者対象求人2件を除く
8月	6	23	29	20	48	0	7	75	104	※既卒者対象求人1件を除く
9月	0	18	18	14	38	4	2	58	76	※既卒者対象求人1件を除く
10月	5	15	20	20	40	3	1	64	84	
11月	2	13	15	14	28	3	2	47	62	
12月	4	15	19	4	14	2	5	25	44	※既卒者対象求人1件を除く
2023年1月	1	4	5	5	11	0	1	17	22	
2月	0	1	1	2	7	0	1	10	11	
3月	1	22	23	51	410	1	3	465	488	※既卒者対象求人1件を除く
合計	42	330	372	335	1310	58	136	1839	2211	
(2022年 3月卒対象)	58	366	424	339	1131	48	104	1622	2046	

3. インターンシップ

(1) インターンシップ窓口対応状況

学内のインターンシップ取扱い窓口を一本化し、学生への情報提供や事前の相談体制を整備するためキャリア形成支援センターに設置された「インターンシップ窓口」の令和4年度の年間利用学生数は延べ1,421人となり、前年度並みの利用となった(表4)。窓口経由でインターンシップにエントリーした学生数<sup>(※)</sup>については、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度の484名から75人減の409人となったが、実際の参加者は前年度並みの296人となった(表5)。

なお、令和4年度までの各種インターンシップは、令和4年6月13日付けで改正された文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(三省合意)が適用される前の取扱い要件に沿って取りまとめ・実施したものである。

(※) インターンシップ窓口経由、課題解決型インターンシップ、SKYCAMPのエントリー者数の合計

表4 インターンシップ窓口利用状況

令和5年3月末時点

【学部・研究科別(学部)】																		
学部・研究科別 月	法文学部		教育学部		理学部		医・歯学部		工学部		農学部		共同獣医学部		水産学部		学生数 小計	
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子
4月	16	13	0	0	1	0	0	0	1	0	4	2	0	0	1	0	23	15
5月	106	86	7	6	19	13	0	0	40	19	26	19	0	0	8	3	206	146
6月	94	62	2	2	10	7	0	0	31	14	44	29	4	2	8	4	193	120
7月	262	192	13	11	29	20	2	0	55	16	102	66	0	0	16	4	479	309
8月	41	32	2	2	10	6	0	0	6	2	16	11	0	0	1	1	77	54
9月	12	7	0	0	4	1	0	0	14	0	5	3	1	0	0	0	36	11
10月	70	40	21	2	25	8	6	0	54	7	35	20	1	1	8	3	220	81
11月	8	6	2	0	2	0	0	0	5	3	4	1	0	0	1	1	22	11
12月	8	7	2	0	1	0	0	0	0	0	3	2	1	1	1	1	16	11
1月	14	10	1	0	1	0	1	0	5	1	4	2	0	0	2	2	28	15
2月	6	5	1	1	1	0	0	0	0	6	2	1	1	0	0	0	15	9
3月	6	5	1	0	0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	14	6
累計	643	465	52	24	103	55	9	0	214	63	253	157	9	5	46	19	1,329	788
前年度 累計	674	486	53	39	83	40	16	15	200	38	261	159	4	4	52	22	1,343	803

【学部・研究科別(研究科)】																							
学部・研究科別 月	人文社会科学部		臨床心理学部		教育学部		理工学(理)		理工学(工)		農林水産学(農)		農林水産学(水)		共同獣医学部		医歯学部		他		大学院生 小計		
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	
4月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5月	1	1	0	0	0	0	5	1	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	4
6月	0	0	0	0	0	0	6	2	4	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	8
7月	1	1	0	0	0	0	3	2	8	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	10
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
10月	0	0	0	0	0	0	6	0	24	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	34	1	
11月	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
3月	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
累計	2	2	0	0	0	0	24	5	53	13	12	5	0	0	0	0	0	0	1	1	92	26	
前年度 累計	2	2	4	4	0	0	32	8	37	4	15	14	4	1	0	0	0	0	0	0	0	94	33

【学年別】																					
学年 月	1年		2年		3年		4年		5年		6年		M1	M2	既卒	左記以外	合計				
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子			
4月	0	0	0	0	5	2	18	13	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	24	15
5月	10	9	22	16	159	111	15	10	0	0	0	0	10	4	4	0	0	0	0	220	150
6月	10	9	15	12	151	91	15	8	2	0	0	0	9	8	4	0	0	0	0	206	128
7月	18	18	58	49	386	234	17	8	0	0	0	0	15	10	1	0	0	0	0	495	319
8月	4	2	3	3	66	48	3	1	1	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	82	57
9月	4	1	4	1	26	9	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	39	11
10月	10	9	21	16	178	54	7	2	4	0	0	0	27	0	6	0	0	1	1	254	82
11月	2	2	1	1	18	8	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	25	11
12月	5	5	3	2	6	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	11
1月	2	2	7	5	19	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	15
2月	1	0	4	4	4	3	5	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	16	9
3月	0	0	0	0	12	6	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	16	6
累計	66	57	138	109	1,030	577	85	43	10	2	0	0	72	25	19	0	0	0	1	1,421	814
前年度 累計	168	98	99	75	1,005	600	69	28	2	2	0	0	86	33	8	0	0	0	0	1,437	836

表5

キャリア形成支援センター経由インターンシップ参加学生数（全体）

大学経由 参加学生数(全体)

インターンシップ種別	H30	H31(R1)	R2	R3		R4				備考
				エントリー数	参加者数	エントリー数	参加者数	受入不可	辞退	
キャンパスウェブ	17	19	4							R2で終了
インターンシップ窓口経由			134	378	95	282	209	66	6	コロナ関連による不参加者数
課題解決型インターンシップ 〔「かごしま課題解決型インターンシップ」 および「地域キャリア・インターンシップ」〕	(学部・研究科で 取扱分に算入) 25	(学部・研究科で 取扱分に算入) 30	20	63	51	79	79	0	0	
SKYCAMP			7	43	8	48	8			
(学部・研究科で取扱分)	209	234	122		130	(調査未実施)				
合計	226	253	287	484	284	409	296	66	6	

(2) 課題解決型インターンシップ

キャリア形成支援センターが企画・実施する「課題解決型インターンシップ」は、前述の「かごしまキャリア教育プログラム」の共通教育科目「地域キャリア・インターンシップ」と、自己成長のため学生が正課外活動として参加する「かごしま課題解決型インターンシップ」の総称であり、「課題解決型学習（PBL）」の手法を取り入れたインターンシップ・プログラムである（図1）。

学生は10日間の就業体験と並行し、受入先ごとに提示される課題（テーマ）の解決に向けて、学生目線でアイデアを検討・提案する。通常の就業体験に留まらず、受入先企業や地域の特徴・課題に関する調査分析、分析に基づく改善案や新規企画の検討、役員への提案（および実行）といった課題解決プロセスを体験することで、学生の社会人基礎力を涵養するとともに、地域社会への理解の深化や県内就職率の向上に寄与することを目的としている。

本インターンシップは、鹿児島商工会議所の協力のもと、鹿児島県内に本社を置く企業や県内の自治体からプログラム提供を受けて実施しており、キャリア形成支援センターは受入を希望する企業・自治体等に対する説明会や、プログラム構築支援、受入先と学生のマッチング、学生に対する事前指導・事後指導、成果報告会の企画・運営等を行っている。

(図1) 課題解決型インターンシップのイメージ



令和4年度は、22事業所から25プログラムが提供され、79人（正課「地域キャリア・インターンシップ」の履修者13人、チャレンジ枠「かごしま課題解決型インターンシップ」参加者66人）の学生が参加した（前年度参加者数：51人）。参加学生は、キャリア形成支援センターのインターンシップ担当教職員による事前・事後指導及び成果報告会を含め、約8カ月の長期に渡るプログラムに挑んだ。

特に、令和4年度の事前指導については、インターンシップ中に実習先で求められるチームワーク力やリーダーシップ力、主体性を十分に発揮できるよう、所属学部や学年を超えた学生同士の関係構築や他者理解、協働することの重要性を重視し、正課・チャレンジ枠合同でのグループ活動を計8回実施した。



学生に対するインターンシップ参加事後アンケート（n=76）の結果、「本インターンシップ全体を通じて満足している」と回答した学生は91%にのぼった。難易度に関する設問では、「インターンシップは自分にとって大きなチャレンジを伴う内容であった」と回答した学生は86%を占め、コロナ禍で様々な課外活動が制限される中で自己成長の機会となったことがうかがえる。自由記述では、「自分に求められている役割を常に考え、その期待を上回るような成果を出すために主体的に行動できた」、「グループ活動で成果を上げるためには、メンバー間のチームワークが非常に大切という考えのもと、活動当初から人一倍雰囲気づくりに汗を流した」、「自分たちは事前講座でチームづくりが出来ていたが、初対面の他大学生と共に活動する場面で、相手が言いたいことや自分が伝えたいことの相互理解が難しい場面に直面し、人間関係の重要性を感じた」（原文より一部抜粋）など、組織での自分自身の役割や相手とのコミュニケーションの取り方の重要性に気付いた学生が多いこともうかがえる。



### (3) 地域密着型パイロット人財創出プログラム（SKYCAMPプログラム）

学生に多様なキャリアの可能性を提供すると同時に、鹿児島に根差したパイロットを輩出し、ひいては地域社会の発展に貢献することを目的に、令和2年10月5日に本学と日本航空(株)（以下JAL）、日本エアコミューター(株)（以下JAC）が締結した連携協力協定に基づき、令和2年度からスタートしたものである。操縦飛行体験SKYCAMPプログラムに参加した2期生のうちJACの条件付内定者となった2人（理学部1人、理工学研究科1人）は、崇城大学の研究生としての入学が決定し、令和5年4月より約2年間かけて、エアラインパイロットに必要なライセンス取得を目指すことになった。

3期目となる令和4年度は、9月29日、10月5日の計2回、JACより現役パイロットを招

いて開催した SKYCAMP の説明会に、100人の学生が参加した。また同日開催した女子学生向けトークセッションは、女子学生の多様なキャリア選択の機会を創出する目的で企画し、女性パイロットや客室乗務員、地上職の社員と19人の女子学生が交流した。その後、対象学年となる学部3年生、修士1年生の応募者48人の中から選ばれた8人（法文学部2人（うち女子1人）、教育学部1人、工学部3人（うち女子1人）、農学部1人、理工学研究科1人）が、3期生として令和5年2月20日～3月4日までの計12日間、操縦飛行体験 SKYCAMP プログラムに参加することになった。JAC の協力により実施した SKYCAMP では、鹿児島空港に隣接するフライトトレーニングセンターで、座学やフライトシミュレーターによる操縦訓練、JAC 便のコックピット同乗、実際の飛行機の操縦等、様々な体験を経て、参加者全員が修了証を手にした。修了者の中から本学が推薦した2人（教育学部の男子1人、工学部の女子1人）の学生が JAC の条件付内定者として決定し、女子学生から初の内定者を出した。両名は卒業・修了後に崇城大学の研究生として、パイロットのライセンス取得を目指すことになっている。



#### 4. 大学コンソーシアム鹿児島「地域連携就業・部会」

令和4年度は、メール会議やオンライン方式で地域連携・就業部会を2回、高等教育機関部会委員によるワーキングを3回開催し、後述の2つの事業を企画・運営した。

また、県内で実施するインターンシップの推進を図るため、各大学が独自に実施するインターンシップ等に関する情報共有や意見交換の場として本部会を活用した。

##### (1) 進学・就職応援フェア みらいワーク“かごしま”

令和4年12月11日、若年者の県内定着を促進するためのイベント「進学・就職応援フェア みらいワーク“かごしま”」を鹿児島県等と共催した。参加者は797人、出展ブース数は89（体験・展示45ブース、進学・就職相談44ブース）であった。

##### (2) 地元企業よかところ発見！見学ツアー

令和5年2月～3月にかけて、本部会の令和4年度主催事業として「地元企業よかところ発見！見学ツアー」を実施した。実施コースは3コース設定し、鹿児島オンラインコースに6人（うち本学2年生1人、3年生2人）、南薩コースに4人（うち本学1年生1人、2年生2人）、始良・伊佐・北薩コースに13人（うち本学4年生1人）の計23人（うち本学学生7人）が参加した。参加学生による事後アンケート（n=23）では、「地元企業への興味や関心の変化」に関する設問には、19人（82.6%）の学生が「興味や関心が出てきた」と回答し、3人（13%）の学生が「もともと関心があった」と回答しており、参加学生が地元企業に関心を寄せる機会になったことがうかがえる。また、全体の満足度についての設問について、「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した学生は95.6%であった。